

私の剣道は帝王学とともに
～たくさんの付箋が頑張りの証し～

北海道

伊達網代道場

小学6年 平野 未音奏

『剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である』この言葉が示すように、剣道の目標は単に勝つ事ではなく、心と精神を鍛える事にあります。私はそんな剣道を（かっこいい!!）という理由で始めました。最初の頃は楽しく続けていましたが、面をつけての稽古が始まると息苦しくなり、とても辛く思うようになりました。そして次第に稽古が嫌になり、やめようかなと思う事が多くなりました。

そんな時、母が帝王学の本をプレゼントしてくれました。帝王学とは、伝統ある家系や家柄の人々がその立場にふさわしい能力を養うための全人格的な教育です。本は経営から生活の知恵などとても興味深い内容で、その日の内に読み終えました。そして剣道と帝王学は強い精神を育てるという共通の目標がある事に気づき、ハッとしました。それ以来壁にぶつかった時や試合でうまくいかない時は、この本を読み返し、気になった言葉や心に響いた所に付箋を貼るようにしました。

そしてある時、本の内容と剣道の先生の教えにも多くの共通点がある事に気づいたので。先生は「辛いなと思う事にも、勇気を持って挑戦し続ける事が自分のためになります。」と教えてくれましたが、本の中にも、挑戦し続ける事の大切さを書いている所がたくさんあります。例えば先生の「困っている人がいたら助ける、スリッパを揃える。こういう事をしないと優勝はできない。」と言う言葉と、帝王学で学んだ『困ったお年寄りがいたら助ける、ゴミを拾う、徳を積まないと、日本一からの招待状は届かない。』と言う教えがぴったり一致していたのです。こうした共通点に気づけた事で、私はより深く剣道と向き合うようになり、剣道と帝王学の教えが自分の成長に欠かせない物であると実感しました。

その上で特に本田圭佑さんの『逆風に立ち向かっていく不屈の精神を持つ事こそが、人生を力強く進めていく原動力となる。』と言う言葉が大きな勇気を与えてくれました。私は居ても立っても居られず、父に頼んで家にタイヤやラダーを設置してもらい、自主練習を始めました。妹も付き合ってくれたので心強く、雨の日でも一緒に頑張りました。そして、「努力は裏切らない!!」先生の言葉と本からの学びを信じ、日々努力を重ねました。

しかし、昨年六月の大会では、高学年で私だけ団体戦に出られず、全国大会出場が叶いませんでした。先生は「頑張っていれば必ずチャンスはある。」と励ましてくれましたが、悔しさと悲しさで胸が一杯になり、全てを投げ出したくなりました。（でも…ここで諦めたら今までの努力が無駄になる！嫌だ!!）そう思い直し、更なる努力を決意しました。

それからは、父が撮影した毎日の稽古と試合の動画を見ながら強い選手の良い所をメモ

し、統計を取るなどして自分の強みを活かす戦い方を研究しました。また整理整頓、挨拶などを今まで以上に心がけるとともに、環境美化や募金活動なども積極的に行いました。そして遂に昨年秋、レギュラーになる事ができました。それを知った時、涙が止らず誰もいない女子更衣室で大泣きしました。

そしてレギュラーとして迎えた大会当日は、呼吸を忘れそうなほど緊張していましたが、試合は二本勝ちし、チームとしても勝利！その後も勝ち進んで優勝する事ができました。

これまで私は、何をやっても長続きせず途中で投げ出す事が多かったのですが、剣道を通して継続する事の大切さを学ぶと共に、強い精神を育み始める事ができたと感じています。剣道がただ（カッコいい!!）という理由だけでなく、心から大好きになりました。

最後に、付箋のたくさんついたこの本は、私の宝物です。家族の支えもあり、私は自分自身を乗り越え、強くなれました。これからもこの本を読み返し、付箋を増やししながら、自分の成長を確かめ続けていきたいです。たくさん付箋が、私の努力と成長を証明してくれると信じています。